

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 22 年 7 月 8 日 (2010.7.8)

【公表番号】特表 2009-545776 (P2009-545776A)
 【公表日】平成 21 年 12 月 24 日 (2009.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-051
 【出願番号】特願 2009-523011 (P2009-523011)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/00 D

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 5 月 20 日 (2010.5.20)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光ビームを供給する光エンジンであって、集光レンズ、コリメータ及び、ある電力レベルを受け、放熱器に結合可能であって、ある発光体光束レベルの光ビームを供給する少なくとも 1 つの固体非干渉光発光体を含む光エンジンと、

画像データを受け、少なくとも前記光ビームの成分を受けて、画像を供給する画像形成装置と、

前記画像を受け、ある投影光束レベルの画像投影ビームを供給する投影レンズアセンブリと、

内部偏光フィルタを含む屈折体であって、前記光ビームを受けて、前記光ビームの偏光成分を前記画像形成装置に供給する屈折体と、を備え、

光束と電力レベルの比率が少なくとも 3 . 8 ルーメン / ワットであり、投影サブシステム容積が 1 4 立方センチメートル未満である携帯効率を有する、投影サブシステム。

【請求項 2】

前記画像形成装置に隣接して、非ゼロのレンズパワーを有する少なくとも 1 つのレンズ表面を更に備える、請求項 1 に記載の投影サブシステム。

【請求項 3】

前記レンズ表面は、前記屈折体の曲面を含む、請求項 2 に記載の投影サブシステム。

【請求項 4】

前記内部偏光フィルタは、多層光学フィルムを含む、請求項 1 に記載の投影サブシステム。

【請求項 5】

前記画像投影ビームのアスペクト比を調節するアナモルフィック光学面を含む、請求項 1 に記載の投影サブシステム。

【請求項 6】

前記集光レンズは、半球ボールレンズを含む、請求項 1 に記載の投影サブシステム。

【請求項 7】

発光ダイオード源は、高発光及び低発光の不均一領域を有する少なくとも 1 つの発光ダ

イオードを含み、部分集光が低発光領域を補填して照射の均一性を増加させている、請求項 1 に記載の投影サブシステム。